

令和5年度

決算

令和5年度の一般会計と各種特別会計の決算が、美里町議会9月会議において原案どおり承認されました。令和5年度の決算の概要についてお知らせします。

■一般会計歳入

一般会計の歳入決算額は114億3,846万円となりました。新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金や子ども・子育て支援整備交付金の影響により、前年度と比較して4億1,766万円の減となりました。

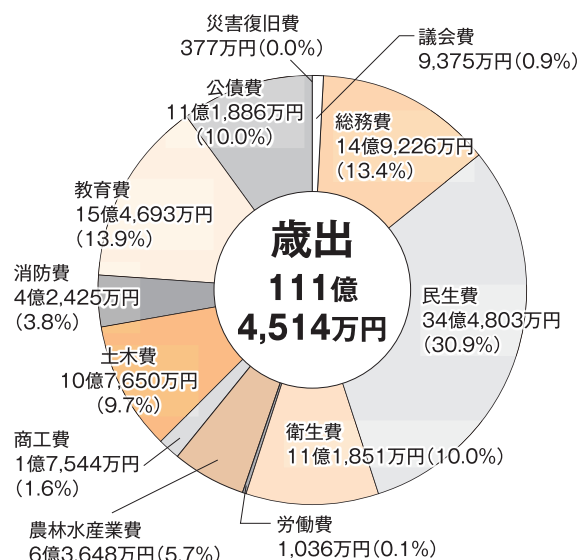
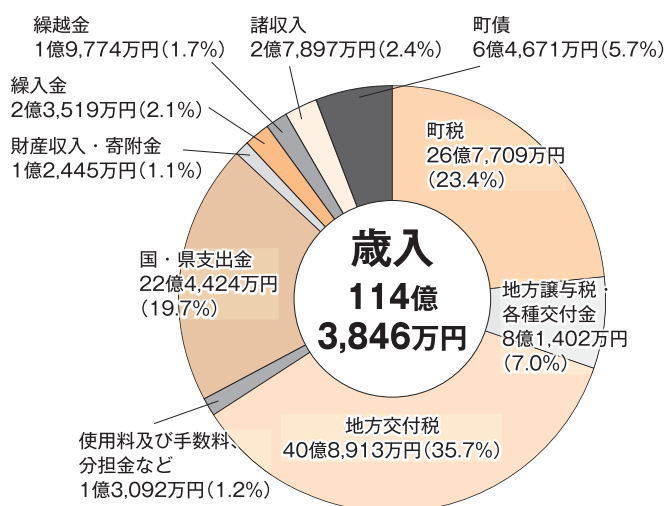
歳入のうち町税は、26億7,709万円で前年度と比較して2,372万円の増となり、地方交付税では、経済対策の事業等を円滑に実施するため追加交付のあった普通交付税で増額となりました。

■実質収支額

令和5年度決算の実質収支額

歳入114億3,846万円－歳出111億4,514万円－繰越財源2,259万円＝2億7,073万円

実質収支額のうち1億3,600万円は、後年度に備えて財政調整基金に積み立てました。



用語の説明

歳入▶町税…町に納める町民税、固定資産税などの税金 **地方交付税**…全ての市町村で一定の行政サービスが受けられるように国が交付するお金 **繰入金**…基金（預金）から取り崩したお金

町債…建設工事を行うときや地方交付税の財源不足分を補うために借り入れたお金

歳出▶総務費…庁舎管理、交通防犯対策、選挙、地域づくり支援などに使われるお金 **民生費**…子育て支援、高齢者・障がい者福祉などに使われるお金 **教育費**…スクールバス、学校・幼稚園の管理、スポーツ振興などに使われるお金 **土木費**…道路建設・維持・町営住宅管理などに使われるお金 **農林水産業費**…農業振興・農地整備などに使われるお金 **公債費**…町債（町が借り入れたお金）の返済金

令和5年度の主な事業



新 中学校整備推進事業

1億6,302万円

新中学校の建設工事に着手し、開校に向けて準備を進めました。



放 課後児童クラブ運営事業

5,824万円

放課後児童クラブの対象年齢の引き上げや定員の拡充をしました。



企 業立地促進事業

3,803万円

立地奨励金の交付や企業への訪問、設備導入に係る支援をしました。



田 んぼダム普及促進事業

158万円

小学校での出前講座や中埜地区でせき板の設置を行いました。

特別会計の決算

各特別会計の歳出決算額を前年度と比較すると、国民健康保険特別会計で2.4%の増、後期高齢者医療特別会計で3.7%の増、介護保険特別会計で2.1%の増となりました。

区 分	歳 入	歳 出	差引額
国民健康保険	27億6,053万円	27億3,100万円	2,953万円
後期高齢者医療	3億4,291万円	3億4,171万円	120万円
介護保険	26億5,311万円	25億9,169万円	6,142万円

公営企業会計の決算

◆水道事業会計の決算状況

※()表示は消費税等抜き金額

区 分	収 入 額	支 出 額	差 引 額
収益的収支	8億2,671万円 (7億5,552万円)	7億2,359万円 (6億6,865万円)	(8,687万円)
資本的収支	9,762万円	4億1,802万円	▲3億2,040万円

差引不足額の3億2,040万円については、過年度分損益勘定留保資金、当年度分損益勘定留保資金、過年度分消費税および地方消費税資本的収支調整額、減債積立金で補てんしました。なお、不足する額については、令和5年度同意済企業債の未発行分で翌年度に措置します。

◆病院事業会計の決算状況

区 分	収 入 額	支 出 額	差 引 額
収益的収支	7億1,044万円 (7億 527万円)	7億2,013万円 (7億1,592万円)	(▲1,065万円)
資本的収支	1億 689万円	1億3,656万円	▲2,967万円

累積欠損金の額は、4億7,845万円となりました。差引不足額の2,967万円については、過年度分損益勘定留保資金で補てんしました。

◆下水道事業会計の決算状況

区 分	収 入 額	支 出 額	差 引 額
収益的収支	9億5,997万円 (9億1,651万円)	9億2,222万円 (9億 529万円)	(1,122万円)
資本的収支	12億5,357万円	11億7,314万円	8,043万円

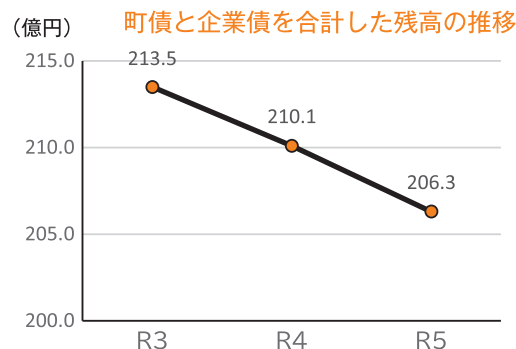
前年度同意済企業債3億6,900万円および翌年度へ繰り越される繰越工事資金6,607万円を除いた差引不足額3億5,464万円については、当年度分消費税および地方消費税資本的収支調整額、繰越工事資金、過年度分損益勘定留保資金、当年度分損益勘定留保資金で補てんしましたが、なお不足する額については、令和5年度同意済企業債の未発行分で翌年度に措置します。

町の台所事情(借金と貯金)

一般家庭が家を買うときにお金を借りるのと同じように、町でも建設工事などの大きな事業を行うときには国や民間の金融機関などからお金を借りています。また、将来の支出に備えた貯金もあります。この2つの状況についてお知らせします。

■町債および企業債の年度末残高(町の借金) ～令和5年度末の残高は約206.3億円

一般会計の令和5年度末の町債残高は、令和4年度末残高に比べて4億3,429万円の減額となり、97億6,039万円となりました。町全体の町債および企業債残高は、前年度と比べて3億7,540万円の減額となりました。

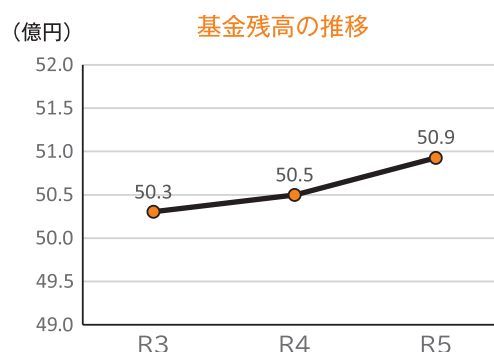


<各会計の内訳>

区 分	令和4年度末残高	令和5年度借入額	令和5年度元金償還額	令和5年度末残高
一 般 会 計	101億9,468万円	6億4,671万円	10億8,100万円	97億6,039万円
水道事業会計	30億3,429万円	7,460万円	2億3,478万円	28億7,411万円
病院事業会計	1億6,429万円	5,200万円	8,245万円	1億3,384万円
下水道事業会計	76億1,353万円	8億7,700万円	6億2,748万円	78億6,305万円
合 計	210億 679万円	16億5,031万円	20億2,571万円	206億3,139万円

■基金の年度末残高(町の貯金) ～令和5年度末の残高は約50.9億円

国民健康保険特別会計の基金残高は減額となりましたが、一般会計と介護保険特別会計の基金残高は増額となり、基金全体では4,474万円の増額となりました。



<各会計の内訳>

区 分	令和4年度末の現在高	令和5年度末の現在高	前年度比較
一般会計 財政調整基金	16億3,330万円	17億7,496万円	1億4,166万円
減債基金	2億7,638万円	3億2,610万円	4,972万円
その他の基金	18億4,609万円	17億8,318万円	▲6,291万円
国民健康保険特別会計	6億9,157万円	5億2,782万円	▲1億6,375万円
介護保険特別会計	5億9,881万円	6億7,883万円	8,002万円
合 計	50億4,615万円	50億9,089万円	4,474万円

財政指標で見る町の財政状況

町の財政状況は健全化判断比率をはじめとするさまざまな指標により、分析することができます。令和5年度決算に基づいた算定結果についてお知らせします。

1. 健全化判断比率

地方公共団体の財政の健全性を表す4つの比率の総称です。毎年、公表が義務付けられています。この比率が早期健全化基準を超えた場合、町は財政の早期健全化のための計画を定め、さらなる財政の健全化に取り組まなければなりません。

■実質赤字比率

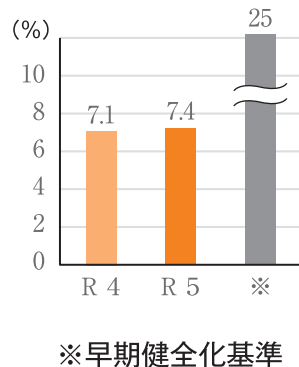
一般会計が赤字か黒字か判断する比率です。過去いずれの年度においても赤字はありません。

■連結実質赤字比率

公営企業会計を含む全会計の合計が赤字か黒字か判断する比率です。過去いずれの年度においても赤字はありません。

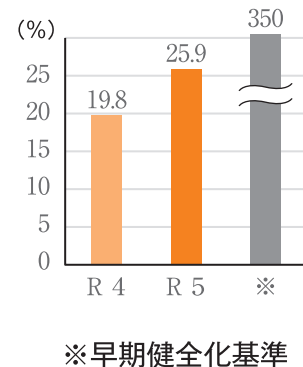
■実質公債費比率

その年度に返済すべき公債費等の金額が、町の標準的な収入金額に対してどのくらいの比率になっているのかを過去3年度の平均値で示す数値です。



■将来負担比率

将来にわたって抱える負担すべき金額(町債の借入れやリース契約などで支払いが確定している金額)が、町の標準的な収入金額に対してどのくらいの比率になっているのかを示す数値です。



2. 資金不足比率

公営企業会計ごとの資金不足額の事業規模に対する割合です。公営企業の資金不足を公営企業の事業規模である料金収入の規模と比較して指標化し、経営状態の悪化の度合いを示す指標ともいえます。

本町の水道事業会計、病院事業会計および下水道事業会計のすべてにおいて、資金不足額はありません。

■都市計画税の使い道(令和5年度歳入 都市計画税 9,750万円)

令和5年度に納税された9,750万円のうち、過誤納還付未済額を除いた9,748万円は、都市計画事業9,944万円の財源の一部として使用しました。不足分は、一般財源を充当しています。

都 市 計 画 事 業	決 算 額
下水道事業会計への補助金 (これまで整備した公共下水道整備事業に係る企業債償還金)	7,082万円
これまで整備した都市計画事業に係る町債償還金	2,862万円
合 計	9,944万円